

平成30年度決算に係る

定期監査調書

平成31年4月

農林水産部 栽培漁業センター

目 次

| | | |
|----|------------------------------|------|
| 1 | 前年度指摘事項等に対する措置等 | 1 頁 |
| | (1) 指摘事項 | |
| | (2) 監査意見 | |
| 2 | 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況 | 1 頁 |
| 3 | 組織及び業務調べ | 1 頁 |
| 4 | 職員の定員、現員調べ | 2 頁 |
| 5 | 役付職員の調べ | 2 頁 |
| 6 | 主な事業に関する調べ | 3 頁 |
| 7 | 収入証紙取扱額調べ | 7 頁 |
| 8 | 収入事務処理状況調べ | 7 頁 |
| | (1) 分担金及び負担金 | |
| | (2) 使用料 | |
| | (3) 手数料 | |
| | (4) 財産収入 | |
| | (5) 諸収入 | |
| | (6) 現金の取扱状況 | |
| 9 | 収入未済額調べ | 9 頁 |
| 10 | 未収金回収促進のための取り組み状況調べ | 9 頁 |
| 11 | 不納欠損額調べ | 9 頁 |
| 12 | 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ | 10 頁 |
| | (1) 負担金 | |
| | (2) 補助金 | |
| | (3) 交付金 | |
| | (4) 委託料 | |
| 13 | 工事請負費調べ | 12 頁 |
| 14 | 財産に関する調べ | 12 頁 |
| | (1) 公有財産 | |
| | (2) 金券類の受払状況 | |
| 15 | 財産の貸付及び使用許可調べ | 17 頁 |
| | (1) 土地及び建物 | |
| | (2) 物品 | |
| 16 | 借受不動産明細調べ | 22 頁 |
| 17 | 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ | 22 頁 |
| | (1) 職員住宅 | |
| | (2) 職員駐車場 | |
| 18 | 寄附物件の受納状況調べ | 22 頁 |
| 19 | 備品の処分状況調べ | 22 頁 |
| 20 | 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ | 22 頁 |
| | (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ | |
| | (2) 物品の照合 | |
| 21 | 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況 | 23 頁 |
| 22 | 事業別予算執行状況調べ | 23 頁 |
| 23 | 試験研究調査事業別実施状況調べ | 24 頁 |
| 24 | 船舶運航調べ | 28 頁 |
| 25 | 用船の状況調べ | 29 頁 |
| ○ | 意見、要望等 | 30 頁 |

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

| 指 摘 事 項 | 措 置 状 況 等 |
|--|--|
| ・栽培漁業センター施設維持管理業務に係る委託契約について、発注侖を作成しておらず、予定価格調書を作成していなかった。 | ・平成 30 年度の契約事務においても同様の事務処理を行っていた。平成 31 年度以降の契約時においては、「契約事務処理要領」の「契約事務処理の流れ・処理のチェックポイント」を活用し、適切に契約事務を行うこととする。 |
| ・栽培漁業センター施設維持管理業務に係る委託契約について、決裁を受けていない仕様書を契約書に添付していた。 | ・平成 30 年度の同契約時には、仕様書の決裁を受けている。平成 31 年度以降は、再発防止のため「契約事務処理要領」の「契約事務処理の流れ・処理のチェックポイント」を活用し、適切に契約事務を行うこととする。 |
| ・平成29年度湖山池漁場環境回復試験に係る魚類採捕等業務委託契約について、契約書に添付すべき仕様書を添付していなかった。 | ・平成 30 年度の同契約時には、仕様書を添付している。平成 31 年度以降の契約時においては、再発防止のため文書管理主任による施行確認を徹底する。 |

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

| 課 名 | 係（担当）名 | 課の主な所掌事務 |
|----------|----------|---|
| 栽培漁業センター | 総務担当 | 人事管理、予算・決算事務 |
| | 養殖・漁場環境室 | 水産動植物の増殖、養殖及び漁場環境についての試験研究及び調査に関すること。 その他水産技術の普及指導並びに沿岸漁業及び内水面漁業の促進に関すること (主な担当業務) マサバの養殖技術開発、未利用海藻の利用・増養殖、漁港内養殖可能性調査、魚病の疾病対策技術開発等 |
| | 増殖推進室 | 〃 (主な担当業務) 河川・湖沼の水産資源・漁場環境、沿岸漁業重要資源調査、沿岸の漁場環境の監視、イワガキ資源回復技術開発試験等 |
| | 試験船おしどり | 〃 (主な担当業務) おしどりの運航、船舶調査等 |

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年4月1日現在)

| 種別 区分 | 事務職員 | | 技術職員 | | 現業職員 | | 計 | | 備考 |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|---------------------|
| | 当該年度 | 30.4.1現在 | 当該年度 | 30.4.1現在 | 当該年度 | 30.4.1現在 | 当該年度 | 30.4.1現在 | |
| 定員 | 1 | 1 | 11 | 11 | 1 | 1 | 13 | 13 | |
| 現員 | () 1 | () 1 | () 11 | () 11 | () 1 | () 1 | () 13 | () 13 | |
| 過不足△ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 臨時職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 非常勤職員 | 1 | 1 | 10 | 11 | 2 | 2 | 13 | 14 | 事務1、警備2 研究員補助員10 |

() は、育児休業、休職中の職員数。

5 役付職員の調べ

(平成31年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 在職期間 | 備考 |
|-----------|-------|------------|------------|
| 所長 | 氏 良介 | 年: 2 月: | |
| 総務担当課長補佐 | 遠藤真由美 | 1 | 出納員 |
| 養殖・漁場環境室長 | 山本 健也 | 2 | 勤務期間: 5年7月 |
| 増殖推進室長 | 福井 利憲 | 4 | 勤務期間: 9年 |

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|-----------------|--|-------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| キジハタ栽培漁業実用化支援調査 | 5,416 | 644 | 3 | 4,769 |
| 鳥取元気プロジェクト | (2)産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興 | | | |
| 元気づくり総合戦略 | 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる～鳥取+ism～ (2)農林水産業 (2)農林水産業の活力増進 | | | |

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県は、平成20年から種苗生産および放流技術の開発試験を開始し、平成28年から漁業者が主体となり、放流事業が開始された。本事業では、キジハタ栽培漁業を推進するため、放流手法の改良（高生残化）や放流効果（回収率、費用対効果B/C）の検証を実施し、かつ市場における単価向上につながる調査、研究を進める。

(イ) 事業の実施状況

| 項目 | 調査年 | 実施状況 |
|----------------|----------|--|
| 放流技術の改良 | 平成28～32年 | ・潜水調査により放流場所の海底の状態や藻場の繁茂状況を確認し、放流箇所を選定した。 ・放流後の初期に潜水調査で放流種苗を捕獲し、分布状況や肥満度を把握した。 ・刺網調査で食害魚を捕獲し、放流種苗の食害状況を把握した。 ・釣獲調査を行い、放流魚の分布を調べた。また、捕獲した個体の一部には標識を付けて再放流し、定着性の検証を行った。 |
| 回収率、費用対効果等の検討 | 平成28～32年 | 市場調査で放流魚の混獲率を測定し、放流年度毎の回収率を把握した。平成31年度3月時点の回収率は、平成23年放流群が6.9%、平成24年放流群が6.7%であった。 |
| 単価向上技術の開発と普及 | 平成28～30年 | 筋肉中の粗脂肪量を測定し、体サイズによる傾向を検討した。粗脂肪量は、個体差があるものの、魚体サイズが大きいほど高い傾向がみられた。 |
| 早期生産種苗を用いた試験放流 | 平成30～34年 | 早期に種苗生産を開始したものの飼育水温が低く推移したことから成長が遅れ、放流時期は例年と同時期の9月となった。 |

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・粗脂肪量を正確に測定可能にするため、部位別に粗脂肪量の測定を行った。
- ・放流効果を高めるため、早期放流試験に取り組んだ。

ウ 成果及び効果

- ・小型エビ・カニ類等が豊富に分布する藻場・転石域に放流したところ、捕獲した種苗の胃内から小型の甲殻類が確認され、放流先で摂餌していることが分かり、放流場所として適していることが示された。
- ・網代、御来屋地区で放流後の食害状況を調べるため刺網調査を行った。御来屋では種苗の食害は確認されず、放流に適した放流場所の選定および低密度分散型放流が上手く行われていることが示された。

エ 課題

- ・費用対効果を検証するためには放流後9年間、混獲率を測定し回収率を試算する必要があることから、引き続き調査を継続する必要がある。
- ・放流種苗の高生残化を図るため、低密度分散型放流の徹底や漁業者および遊漁者への漁獲サイズ規制の周知、指導も必要である。
- ・キジハタ親魚の早期採卵、早期種苗生産技術を確立し、早期放流の効果を検証する必要がある。

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|---------------|---|-------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| 養殖事業展開可能性調査事業 | 7,712 | 2,654 | 5 | 5,053 |
| 鳥取元氣プロジェクト | (2) 産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興 | | | |
| 元気づくり総合戦略 | 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (2) 農林水産業の活力増進 | | | |

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県で現在進めている陸上養殖について飼育方法、条件等を検討し、効率的で生産性のある養殖手法の確立を目指す。平成24年度から「井戸海水を用いたマサバ陸上養殖」について試験を開始し、平成27年度からは「カワハギ類の陸上養殖」について試験を行っている。

(イ) 事業の実施状況

| 試験名 | 項目 | 実施内容 |
|---------------|-----------------|--|
| マサバ 養殖試験 | 養殖効率化に向けた試験 | ・高成長、高生残率を目指すため、飼育試験を実施。 |
| | 晩期採卵試験 | ・養殖期間中の成熟の影響をコントロールするため、通常より遅い時期での採卵試験を実施。 |
| | 養殖業者へのフォローアップ | ・新たに養殖事業を開始した企業などに、飼育技術指導や助言等を行った。 |
| | 高成長マサバ群育種試験 | ・選別育種により、成長の良いマサバの系統が作成されるか調査を実施。 |
| カワハギ類 養殖試験 | ウマヅラハギ種苗生産試験 | ・完全養殖に向けた種苗生産試験を実施。 |
| | ウマヅラハギ養殖試験・飼育指導 | ・民間業者と共同研究により、ウマヅラハギの陸上養殖の可能性について検討を行った。 |

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・マサバ養殖試験では、養殖魚の高成長、高生残率、経費削減に向け、給餌方法や添加物について幅広く検討した。

ウ 成果及び効果

- ・マサバ養殖試験で得られた飼育データ等を基に、養殖事業者への飼育方法の改善指導や、課題への対処等のアドバイスを行ったことで、養殖事業の円滑な実施、運営が図られた。
- ・マサバの育種効果を検証するために必要となる基礎データを収集した。
- ・ウマヅラハギの種苗生産試験において、種苗生産技術確立の目安となる飼育密度1000尾/t（H28年度は165尾/t）の種苗を生産し、安定的な種苗生産を可能とした。

エ 課題

- ・マサバ養殖では夏期に、高水温に伴う死亡多発や、その対策となる餌止めによる成長停滞が起こりやすく、養殖事業の効率性を下げる要因となっており、飼育方法の改良（餌種類、給餌方法など）や種苗の質などの改良が必要となっている。
- ・ウマヅラハギの種苗生産事業化のため、一度に大量の受精卵を確保する方法を検討する必要がある。
- ・ウマヅラハギの陸上養殖では、防疫対策などによる生残率の向上が課題となっている。

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|------------|---|-------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| アユ資源緊急回復試験 | 5,414 | 0 | 5 | 5,409 |
| 鳥取元気プロジェクト | (2)産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興 | | | |
| 元気づくり総合戦略 | 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (2) 農林水産業の活力増進 | | | |

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県内河川ではアユの不漁が長く続いている。原因として天然アユ資源の減少、河川環境の悪化、アユの餌となる付着藻類の減少、魚食性の野鳥カワウによる食害、疾病の影響等が考えられる。本事業ではこれら不漁原因の対応策を見出してとりまとめ(アユ回復プラン)、アユ漁の復活を目指す。

(イ) 事業の実施状況

天然アユ資源の回復

| 調査名 | 調査年 | 内容 |
|--------------|---------|-----------------------------------|
| 遡上量調査 | H29-31年 | 3河川で春季に海から遡上するアユの尾数やふ化日を推定した。 |
| 流下仔魚調査 | H29-31年 | 3河川で秋～冬季に卵からふ化し海へ下る、アユ仔魚の尾数を推定した。 |
| 海域での減耗要因解明調査 | H27-31年 | 美保湾でアユ餌料環境の測定及びアユ仔稚魚を採捕しふ化日を推定した。 |

河川内の不漁対策

| 調査名 | 調査年 | 内容 |
|------------------|---------|---|
| アユ漁場環境保全対策調査 | H29-30年 | 天神川でアユの生息に適した河川形態を復元するための具体案を検討。 |
| 付着藻類減少原因解明に向けた調査 | H29-31年 | 日野川でアユの餌となる付着藻類の減少が問題化しているため、定期的に付着藻類の現存量を把握した。 |
| 早期小型種苗放流試験 | H30-31年 | 早期小型種苗放流を行うことで、友釣りによる好漁場が形成できるかを調査 |

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

種苗放流方法の改善に向けて、早期小型種苗放流試験を実施した。

ウ 成果及び効果

- ・各河川の遡上量は、日野川で約3万尾、天神川で約4万尾、千代川で約8万尾と推定され、天然資源はいまだに少ない状態にあることがわかった。
- ・アユ漁場対策検討調査の結果、礫河原の再生と巨石を用いた河川の瀬・淵構造の復元により、アユの生息に好適な環境を復元するコンセプト図を示した。この結果は水辺の環境保全協議会において関係者(県農林水産部、県土整備部、国交省各事務所、3河川漁協)で共有した。これを受けて国交省倉吉河川国道事務所は、天神川河川敷の樹林伐採を実施。部分的ではあるが河道の固定化を助長する植生を除去することができた。
- ・早期小型種苗放流試験において、体重5g程度の小型種苗を早期(4月)に放流してアユの生息密度を高め、漁場への定着性を高める取り組み(生け簀馴致、カワウ除けの黒テグス設置)を併用することにより、友釣りの好漁場が形成できる可能性が示された。
- ・海域における餌料環境の変化がアユ仔稚魚の生残に影響している可能性があることがわかった。

エ 課題

- ・天然アユの減少原因解明に向けて、調査の継続と詳細なデータの検討を行う必要がある。
- ・アユの餌となる付着藻類の減少が問題化しており、原因解明に向けた調査を継続する必要がある。
- ・本調査で得られた成果を基にした、アユ不漁対策に関する指針のとりまとめ(平成31年度予定)。

(単位：千円)

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|--|---|--------|------|-------------------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| 漁港内養殖可能性調査事業 | 2,716 | 620 | | 2,096 |
| 鳥取元気プロジェクト | (2)産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興 | | | |
| 元気づくり総合戦略 | 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2)農林水産業 (2)農林水産業の活力増進 | | | |
| (概要) | | | | |
| ア 目的及び事業の実施状況 | | | | |
| (ア) 目的 | | | | |
| 十分に活用されていない漁港・港湾内を利用した魚類養殖事業の可能性について調査研究を行う。 また、漁業者が副業的に取り組み、生産魚は付加価値を付け高値で販売し、儲かる仕組みについて検討を進める。 | | | | |
| (イ) 事業の実施状況 | | | | |
| 以下のとおり県内2漁港で短期間養殖試験を行い、生産魚は試験販売し、事業の収益性を調べた。 | | | | |
| 調査場所 | 試験期間 | 対象種 | 飼育尾数 | 試験販売 |
| 御来屋 | 6～12月 | ウマヅラハギ | 177尾 | 漁協直売所にて計3回販売(12月) |
| 長和瀬 | 4～7月 | マアジ | 529尾 | 賀露市場にて計6回販売(7～8月) |
| 長和瀬 | 10～12月 | マアジ | 982尾 | 賀露市場にて計2回販売(12月) |
| 長和瀬 | 9～12月 | ウマヅラハギ | 130尾 | |
| イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 | | | | |
| 御来屋漁港では波浪の影響がより少ない漁港内奥に生簀設置位置を変更した。 | | | | |
| ウ 成果及び効果 | | | | |
| ＜御来屋漁港＞ | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 最終生残率(12月中旬まで)は81%となった。夏季は65%程度とやや低い生残率だが、秋季から冬季の飼育では90%以上の高い生残率を維持できることがわかった。 飼育魚の一部は比肝重(全体重に対する肝臓重量の割合)15%以上の商品価値が高い、肝が大きい個体に成長し、漁協直売所での試験販売では好評を得た。 | | | | |
| ＜長和瀬漁港＞ | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> マアジは春季から夏季までの飼育では94%、秋季から冬季の飼育でも93%と高い生残率を維持できることがわかった。 ウマヅラハギについては、漁獲直後にエア抜きをすることで前年度試験よりやや生残率を向上(H29:37%→H30:54%)させることができた マアジは短期養殖で肥満度が増加、脂のりも向上し、賀露市場での試験販売では最高で2000円/kg程度(平均的なアジの相場500～1000円/kg程度)と高値で販売することができた。 | | | | |
| エ 課題 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ウマヅラハギについては養殖期間が短期間であることなどが影響し、出荷時に肝が大きい個体の割合が少なかった。餌種類や給餌方法を工夫し、より効率的に肝の入りをよくする方法を検討する。 マアジについては最適収容密度等について調査し、事業化に向けさらなるデータ収集に努める。 | | | | |

7 収入証紙取扱額調べ

(平成30年12月31日現在)

| 収入科目 | | 件数 | 単価(円) | 証紙はりつけ額(円) | 備考 |
|--------------|-----------------------|----|--------|------------|----------------------------------|
| 目 | 細節 | | | | |
| 農林水産業 手数料 | 水産業手数料 栽培漁業センター手数料 | 8 | 28,600 | 228,800 | アユ冷水病検査 |
| | | 2 | 15,700 | 31,400 | ヒラメに係るクドア・セブテンプンクタータ検査 (検鏡検査) |
| | | 1 | 20,300 | 20,300 | コイ春ウイルス血症(ウイルス分離検査) |
| | | 1 | 13,700 | 13,700 | コイヘルペスウイルス病 |
| | | 28 | 420 | 11,760 | 証明書交付 |
| | 計(節) | 40 | | 305,960 | |
| | 目計 | 40 | | 305,960 | |
| | 合計 | 40 | | 305,960 | |

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

| 収入科目 | | 件数 | 調定金額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 根拠法令等 | 備考 |
|-------------|---------|-----|---------|---------|-------|-------|-------------------|--------|
| 目 | 細節 | | | | | | | |
| 行政財産 使用料 | 行政財産使用料 | 1 | 14,340 | 14,340 | 0 | 0 | 鳥取県公有財産事務取扱 規則 | 冷暖房使用料 |
| | | 315 | 315,000 | 315,000 | 0 | 0 | | 駐車場使用料 |
| | | 316 | 329,340 | 329,340 | 0 | 0 | | |
| | 計(節) | 316 | 329,340 | 329,340 | 0 | 0 | | |
| | 目計 | 316 | 329,340 | 329,340 | 0 | 0 | | |
| | 合計 | 316 | 329,340 | 329,340 | 0 | 0 | | |

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

| 目 | | 収入科目 | | 件数 | 調定金額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 根拠法令名等 | 備考 |
|---|---|-------------------------------------|---------|----|---------|---------|-------|-------|--------|----|
| 目 | 節 | 目 | 節 | | | | | | | |
| 生物系特定 産業技術研 究支援セン ター受託事 業収入 | | 生物系特定産 業技術研究支 援センター受託事 業収入 | 試験研究委託料 | 1 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | | |
| | | | 計(節) | 1 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | | |
| | | 目計 | | 1 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | | |
| 雑入 | | 雑入 | 試験販売代金 | 1 | 157,464 | 157,464 | 0 | 0 | | |
| | | | 公用車使用料 | 1 | 26,160 | 26,160 | 0 | 0 | | |
| | | 計(節) | | 2 | 183,624 | 183,624 | 0 | 0 | | |
| | | 目計 | | 2 | 183,624 | 183,624 | 0 | 0 | | |
| | | 合計 | | 3 | 206,464 | 206,464 | 0 | 0 | | |

(6) 現金の取扱状況

該当なし

9 収入未済額調べ

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

| 区分 | 節 | 細節 | 過年度 | | | 年度 | | | 現年度 | | | 収入未済額計 A+B | 未收理由 |
|-------------------------|---|---|-------------|-----------|-------|--------|--------------|--------|-------|--------|---|---------------|-----------------|
| | | | 前年度以前からの繰越額 | 左のうちの収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額A | 収入未済額の調定年度内訳 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入未済額B | | | |
| | | | | | | 27年度以前 | 28年度 | 29年度 | | | | | |
| 生物系特定産業技術研究支援センター受託事業収入 | | 生物系特定産業技術研究支援センター受託事業収入(計画的回収債権)試験研究委託料 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 0 | 収入年月日平成30年6月12日 |
| | | 計(節) | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 目計 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 合計 | 22,840 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 22,840 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

10 未収金回収促進のための取組状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

1 2 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成30年12月31日現在)
(単位：円)

| 予算科目 (目) | 予算令達額 | 負担金の名称 | 支出先 | 負担率 | 支出年月日 | 支出金額 | 支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む) | 備考 |
|---------------|-------|--------|-----|-----|-------|--------|------------------------------|----|
| 栽培漁業 センター費 | | | | | | | | |
| 新規以外のもの | | | | | | 50,000 | | |
| 目 計 | | | | | | 50,000 | | |
| 合 計 | | | | | | 50,000 | | |

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4)委託料

(平成30年12月31日現在)(単位:円)

| 予算科目 (目) | 国補 単 の 別 | 委託料の名称 | 委託契約の 相手方 | 当初契約 | | | 入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日) | 完了 年月日 履行検査 年月日 | 支出の状況 | | | 備考 |
|---------------------|-------------------|------------------------|---------------|-----------|----------------------------|--------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------|--------------|------------|---|
| | | | | 予定価格 | 変更契約(最終) (契約年月日) 契約額 | 契約期間 | | | 支出 年月日 | 支出 区分 | 金額 | |
| | | | | | | | 契約年月日 | 契約額 | | | | |
| | | | | 契約年月日 | 契約額 | 契約期間 | | | | | | |
| 栽培漁業センター費 | 単 県 | 栽培漁業センター施設維持 管理業務委託 | (公財)鳥取県栽培漁業協会 | 6,322,000 | (30.4.1) 6,322,000 | 30.4.1 ~31.3.31 | - (免除) | | 概算 | 30.4.27 他 | 4,442,000 | 18-00189022 業務仕様書に定める業務を行うこと ができる機能・技術を持つ団体は当 協会のみ |
| 予定価格が250万円 未満のもの | | | | | | | | | | | 5,794,672 | |
| 目計 | | | | | | | | | | | 10,236,672 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | 10,236,672 | |

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

| 行政・普通財産の区分 | 施設名等 | 所在地 | 前年度末 | | 本年度異動状況 | | | | | | 差引 | | 備考 | |
|-------------|----------|-------------------|----------------------|------------|---------|-----|----------------------|--------|------|-------|----------------------|------------|------------|--|
| | | | 面積 (m ²) | 価額 (円) | 増減別 | 異動日 | 面積 (m ²) | 価額 (円) | 増減理由 | 登記年月日 | 面積 (m ²) | 価額 (円) | | |
| 行政財産 | 栽培漁業センター | 湯梨浜町石脇二ノ北畑1144-1 | 5,325.09 | 42,461,795 | 増加 | H | | | | | H | 5,325.09 | 42,461,795 | |
| | | | | | 減少 | H | | | | | H | | | |
| | 栽培漁業センター | 湯梨浜町石脇三ノ北畑1166 | 19,424.98 | 1144-1に含む | 増加 | H | | | | | H | 19,424.98 | 1144-1に含む | |
| | | | | | 減少 | H | | | | | H | | | |
| 普通財産 | 栽培漁業センター | 湯梨浜町石脇二ノ甲亀山1302-1 | 606.07 | 1144-1に含む | 増加 | H | | | | | H | 606.07 | 1144-1に含む | |
| | | | | | 減少 | H | | | | | H | | | |
| | 栽培漁業センター | 湯梨浜町石脇二ノ甲亀山1302-2 | 90 | 1144-1に含む | 増加 | H | | | | | H | 90 | 1144-1に含む | |
| | | | | | 減少 | H | | | | | H | | | |
| 計 | | | 25,446.14 | 42,461,795 | | | | | | | 25,446.14 | 42,461,795 | | |
| 普通財産 (該当なし) | | | | | 増加 | H | | | | | H | 0 | 0 | |
| 計 | | | 0.00 | 0 | 減少 | H | | | | | H | 0 | 0 | |
| 合計 | | | 25,446.14 | 42,461,795 | | | | | | | | 25,446.14 | 42,461,795 | |

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

| 行政・ 普通財産 の区分 | 機関名又は 施設名等 | 所在地 | 前年度末 | | 本年度異動状況 | | | | | | 差引 | | 備考 | |
|--------------------|---------------|----------------|---------------------|-------------|---------|-----|---------------------|-------|------|-----------|---------------------|------------|-------------|--|
| | | | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減別 | 異動日 | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減理由 | 登記 年月日 | 面積(m ²) | 価格(円) | | |
| 行政財産 | フムシ飼育培 養棟 | 湯梨浜町石脇 1166 | 417.60 | 28,580,819 | 増加 | | | | | | 417.60 | 28,580,819 | | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | アワビ棟 | | 1,990.17 | 140,289,909 | 増加 | | | | | | | 1,990.17 | 140,289,909 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 管理棟 | | 691.92 | 76,063,378 | 増加 | | | | | | | 691.92 | 76,063,378 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 機械棟 | | 386.70 | 39,796,653 | 増加 | | | | | | | 386.70 | 39,796,653 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 車庫 | | 25.00 | 1,623,511 | 増加 | | | | | | | 25.00 | 1,623,511 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | ポンプ庫 | | 8.75 | 831,957 | 増加 | | | | | | | 8.75 | 831,957 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | ヒラメ棟 | | 1,382.87 | 134,170,880 | 増加 | | | | | | | 1,382.87 | 134,170,880 | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| クルマエビ飼 育棟 | 360.40 | 24,779,724 | 増加 | | | | | | | 360.40 | 24,779,724 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| アワビ棟調温 施設 | 7.93 | 747,295 | 増加 | | | | | | | 7.93 | 747,295 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 養殖技術指導 研修施設 | 135.00 | 17,033,390 | 増加 | | | | | | | 135.00 | 17,033,390 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 漁具倉庫 | 99.89 | 7,577,099 | 増加 | | | | | | | 99.89 | 7,577,099 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| サザエ棟 | 695.50 | 178,346,560 | 増加 | | | | | | | 695.50 | 178,346,560 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |

| 行政・普通財産の区分 | 機関名又は施設名等 | 所在地 | 前年度末 | | 本年度異動状況 | | | | | | 差引 | | 備考 | |
|-------------|-----------|----------------|---------------------|------------|---------|-----|---------------------|-------|------|-------|---------------------|------------|------------|--|
| | | | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減別 | 異動日 | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減理由 | 登記年月日 | 面積(m ²) | 価格(円) | | |
| 行政財産 | ポンプろ過機等 | 湯梨浜町石脇 1166 | 54.91 | 35,515,430 | 増加 | | | | | | 54.91 | 35,515,430 | | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 試料前処理室 | | 30.00 | 4,223,000 | 増加 | | | | | | | 30.00 | 4,223,000 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 加温棟 | | 125.00 | 22,557,000 | 増加 | | | | | | | 125.00 | 22,557,000 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 防疫検査施設 | | 91.00 | 20,171,550 | 増加 | | | | | | | 91.00 | 20,171,550 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 井戸取水ポンプ室1 | | 7.78 | 3,867,647 | 増加 | | | | | | | 7.78 | 3,867,647 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| | 井戸取水ポンプ室2 | | 7.78 | 5,689,565 | 増加 | | | | | | | 7.78 | 5,689,565 | |
| | | | | | 減少 | | | | | | | | | |
| 井戸取水ポンプ室3 | 7.78 | 5,843,573 | 増加 | | | | | | | 7.78 | 5,843,573 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 倉庫 | 30.69 | 2,992,500 | 増加 | | | | | | | 30.69 | 2,992,500 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 海水井戸ポンプ小屋 | 11.65 | 47,416,950 | 増加 | | | | | | | 11.65 | 47,416,950 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 津波対策避難階段 | 12.74 | 8,157,000 | 増加 | | | | | | | 12.74 | 8,157,000 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |
| 生産種苗等飼育展示施設 | 49.28 | 28,866,100 | 増加 | | | | | | | 49.28 | 28,866,100 | | | |
| | | | 減少 | | | | | | | | | | | |

| 行政・普通財産の区分 | 機関名又は施設名等 | 所在地 | 前年度末 | | 本年度異動状況 | | | | | | 差引 | | 備考 |
|------------|-------------|--------|---------------------|---------------|---------|-----|---------------------|-------|------|-------|---------------------|---------------|----|
| | | | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減別 | 異動日 | 面積(m ²) | 価格(円) | 増減理由 | 登記年月日 | 面積(m ²) | 価格(円) | |
| 行政財産 | アワビ棟(増設) | 湯梨浜町石脇 | 120.00 | 30,183,800 | 増加 | | | | | | 120.00 | 30,183,800 | |
| | マサバ・キジハタ生産棟 | 1166 | 436.00 | 228,536,640 | 増加 | | | | | | 436.00 | 228,536,640 | |
| 計 | | | 7,186.34 | 1,093,861,930 | | | 0.00 | 0 | | | 7,186.34 | 1,093,861,930 | |
| 普通財産 | (該当なし) | | | | 増加 | | | | | | | | |
| 計 | | | 0 | 0 | 減少 | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| 合計 | | | 7,186.34 | 1,093,861,930 | | | 0.00 | 0 | | | 7,186.34 | 1,093,861,930 | |

ウ 山林
該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年12月31日現在)

| 種 別 | 前年度末 | 本 年 度 中 | | 差引 | 備 考 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| | | 受 入 額 | 払 出 額 | | |
| 郵便切手 | 円 17,636 | 円 52,500 | 円 41,202 | 円 28,934 | |
| 合 計 | 17,636 | 52,500 | 41,202 | 28,934 | |

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当無し

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

| 行政・普通財産の区分 | 貸付(使用許可)目的 | 所在地 | 数量又は面積 | 貸付(使用許可)年月日 | 当初貸付(使用許可)年月日 | 貸付(使用許可)期間 | 貸付(使用)料円 | | 貸付(使用許可)先 | | 備考 |
|------------|------------|------------|-------------------------|-------------|---------------|--------------------------|----------|-------------|---------------|-------------|-----|
| | | | | | | | 単価 | 本年度の貸付(使用)料 | 住氏名 | 所名 | |
| 行政財産 | 種苗生産業務 | 湯梨浜町石脇1167 | 6,224.70 m ² | H30.3.29 | H6.4.1 | H30.4.1 ～ H31.3.31 | | 無償 | 湯梨浜町石脇1166 | 17-00304967 | 工作物 |
| | | | 2,471.86 m ² | " | " | " | | 無償 | (公財)鳥取県栽培漁業協会 | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| 普通財産 | (該当無し) | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | |

※工作物(2,471.86m²)は建物(6,224.70m²)に含まれる面積である。

(2) 物品

(平成30年12月31日現在)

| 品名 | 数量 | 規格・銘柄 | 貸付期間 | 貸付料(円) | | 貸付先 住 氏 名 | 使用場所 | 貸付目的 | 備考 |
|------------|----|-----------------------------------|----------------------|--------|---------|--------------------------------|--------------|--------|----|
| | | | | 単価 | 本年度の貸付料 | | | | |
| 万能投影機 | 1 | ニコンイステック V-12BS | H30.4.1～ H31.3.31 | 月額・年額 | 免除 | 東伯郡湯梨浜町石脇1166 (公財)鳥取県栽培漁業協会 | 栽培漁業セン ター | 種苗生産業務 | |
| ユニット実験台 | 1 | 三英PW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| ドラフトチャンバー | 1 | 三英PW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 壁側実験台 | 6 | 三英DW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| ユニット流し台 | 9 | 三英DW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 電気泳動装置 | 1 | AE-6133 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 中央実験台 | 4 | 三英DW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| システム顕微鏡 | 1 | オリンパスBX50-34 -VPT-1PM 20-3P | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 紫外線流水式滅菌装置 | 1 | フナテックLP-40 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 自動給餌器(稚魚用) | 4 | 松阪製作所 さんし郎KC-15H | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 作業台 | 1 | 三英DW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |

| 品名 | 数量 | 規格・銘柄 | 貸付期間 | 貸付料(円) | | 貸付先 住 氏 名 | 使用場所 | 貸付目的 | 備考 |
|--------------|----|--------------------------|----------------------|--------|---------|--------------------------------|--------------|--------|----|
| | | | | 単価 | 本年度の貸付料 | | | | |
| 自動給餌器(稚魚用) | 4 | 松阪製作所 さんし郎KC-40-CJ-DT | H30.4.1～ H31.3.31 | 月額・年額 | 免除 | 東伯郡湯梨浜町石脇1166 (公財)鳥取県栽培漁業協会 | 栽培漁業セン ター | 種苗生産業務 | |
| 自動給餌器(幼魚用) | 4 | 松阪製作所 さんし郎KC-15H | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| FRP水槽 | 1 | KF-800S | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| アルミテアふ化槽 | 2 | FRP500・ | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| FRP水槽 | 2 | KF-1500S | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 波板洗浄機 | 1 | クボタ工業NK-500S型 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 自動波板洗浄機 | 1 | クボタ工業NK-500型 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 紫外線流水式滅菌装置 | 4 | フナテックLP-50 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 冷却遠心機 | 1 | 日立工機(株)CF15R | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| PCRサーマルサイクラー | 1 | 宝酒造TP3000 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 高温恒温器 | 1 | MOV-112P | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 空気脱水滅菌装置 | 1 | サニトロンSS-10G | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |

| 品名 | 数量 | 規格・銘柄 | 貸付期間 | 貸付料(円) | | 貸付先 住氏名 | 使用場所 | 貸付目的 | 備考 |
|------------|----|-----------------------|----------------------|--------|---------|--------------------------------|--------------|--------|----|
| | | | | 単価 | 本年度の貸付料 | | | | |
| 蛍光顕微鏡 | 1 | NikonE600B | H30.4.1～ H31.3.31 | 月額・年額 | 免除 | 東伯郡湯梨浜町石脇1166 (公財)鳥取県栽培漁業協会 | 栽培漁業セン ター | 種苗生産業務 | |
| DNA検出・撮影装置 | 1 | AE-6915型 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| フッシュホップ | 1 | ピンピンZ-65L | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 測定台 | 2 | 三英DW式 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 冷却遠心機 | 1 | 久保田MODEL1920 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 分光光度計 | 1 | アマシヤムフアルマルシア バイオテク | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| ELISA機器 | 1 | 5501575 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| スライスカッター | 1 | KTD-3型 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| アスピレーター | 1 | WJ-15 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| クリーンベンチ | 1 | PAU-1300AG | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 和船 | 1 | SW-24BF | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 船外機 | 1 | 29.9KWスズキ製 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |

| 品名 | 数量 | 規格・銘柄 | 貸付期間 | 貸付料(円) | | 貸付先 住 氏 名 | 使用場所 | 貸付目的 | 備考 |
|----------------|----|-------------------------|----------------------|--------|---------|--------------------------------|--------------|--------|----|
| | | | | 単価 | 本年度の貸付料 | | | | |
| 冷蔵庫 | 1 | SRR-K1883 | H30.4.1～ H31.3.31 | 月額・年額 | 免除 | 東伯郡湯梨浜町石脇1166 (公財)鳥取県栽培漁業協会 | 栽培漁業セン ター | 種苗生産業務 | |
| フォークリフト | 1 | TCMフォークリフト FH GE15T4 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| チョップパー | 1 | エムラES-2 フードスライサー | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 軽トラック | 1 | スズキ 鳥取4801け 9477 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 軽四輪貨物自動車 | 1 | エブリー 鳥取480こ5227 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 軽四輪貨物自動車 | 1 | エブリー 鳥取480こ5228 | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 活魚移送機ピンベン 式 | 1 | Z-100L-S | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 自走式水槽底掃除機 | 1 | アクアムーバー | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 冷蔵庫 | 1 | パナソニックSRF- K1883A | " | 月額・年額 | " | " | " | " | |
| 合 計 | 75 | | | | 0 | | | | |

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

| 財産の区分 | 所在地 | 1区画の面積 (㎡) | 貸付(使用)料(月額) (円) |
|-------|--------------|---------------|--------------------|
| 行政財産 | 湯梨浜町大字石脇1166 | 12.5 | 1,000 |
| 普通財産 | 該当なし | | |

イ 異動状況

(行政・普通財産)

| 月別 | 前月末 | 当月減 | | 当月増 | | 当月末 | | 調定額 円 | 減免状況 | 収入済額 | 収入未済額 |
|-----|-----|------|---|------|---|------|--------|----------|------|--------------|--------------|
| | | うち減免 | 人 | うち減免 | 人 | うち減免 | 人 | | | | |
| 4月 | 34 | 0 | 人 | 1 | 人 | 0 | 35,000 | | | / | / |
| 5月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 6月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 7月 | 35 | 1 | 人 | 1 | 人 | 0 | 35,000 | | | | |
| 8月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 9月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 10月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 11月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 12月 | 35 | 0 | | 0 | | 0 | 35,000 | | | | |
| 1月 | | | | | | 0 | | | | | |
| 2月 | | | | | | 0 | | | | | |
| 3月 | | | | | | 0 | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | 315,000 | | 円 315,000 | 円 315,000 |

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

該当なし

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

(平成30年12月31日現在)

| 照合年月日 | 現物確認できなかった物品 | 現物が確認できなかった物品名 | 個数 |
|--------------------------|--------------|----------------|----|
| 30年8月1日 ~ 30年9月28日 | ・有 ○ 無 | | |

2.1 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

（平成30年12月31日現在）

| 船名 | トン数 | 取得 年月日 | 稼働 日数 日 | 修繕費等 円 | 左の主な内容 | 定係港又は船籍港 | 占用料 円 |
|------|-----|-----------|---------------|-----------|--------------|----------|----------|
| おしどり | 6.1 | H22.9.1 | 41 | 91,440 | 機関始動不良による修繕等 | 泊漁港 | 免除 |
| 石脇丸 | 0.9 | H25.11.29 | 69 | 157,388 | メンテナンス、点検、修繕 | 泊漁港 | 免除 |
| 計 | 7.0 | | 110 | 248,828 | | | |

2.2 事業別予算執行状況調べ

（平成30年12月31日現在）

| 目名 | 栽培漁業センター費 | 事業名 | 事業の概要（目的、実績等） |
|----|-----------|----------------------------------|------------------------|
| | | サケマス養殖技術支援事業 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 美保湾ヒトデ大量発生による資源影響調査 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 資源回復技術開発試験 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | キジハタ栽培漁業実用化支援調査 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 魚病対策事業 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 養殖事業展開可能性調査 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 湖山池漁場環境回復試験 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 沿岸漁業重要資源調査 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 東郷池ヤマトシジミ資源回復試験 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | アユ資源緊急回復試験 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 環境に適した漁法の開発試験 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 藻場造成調査 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 未利用海藻増産試験（海の葉っぱビジネス創出活動 Part II） | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |
| | | 漁港内養殖可能性調査事業 | 2.3 試験研究調査事業別実施状況調べに記載 |

| 事業名 | 実施計画 期間 (予算額) 支出済額 | 担当室 | 試験研究 調査の目的 | 試験研究調査の 成果・課題 |
|-------------------------------------|--|--------------|--|--|
| サケマス 養殖技術 支援事業 | 28年度 ～ 32年度 円 (960,000) 518,001 | 養殖・漁場 環境室 | ニジマス等の三倍体技術の精度向上を図り、販売機会増大により、サケマス類の増産を検討する。 | (成果) ・3倍体・4倍体処理をそれぞれ行い、それぞれでふ化仔魚を得た。 |
| | | | | (課題) ・4倍体魚から3倍体魚を生産する試験の検証。 |
| 美保湾ヒ トデ大量 発生によ る資源影 響調査 | 30年度 ～ 32年度 円 (1,264,000) 1,068,179 | 増殖推進室 | (調査対象) ヒトデ、バイ、ヒラメ (目的) (単) 大量発生したヒトデの現状等を把握し、効率的駆除方法の提示を行う。また、栽培漁業資源に与える影響を把握し、増殖方法の検討を行う。 | (成果) ・6月にスナヒトデが大量発生し、分布状況等を漁業関係機関に情報提供することにより、駆除に役立てることができた。 ・スナヒトデやモミジガイの発生時期や小型個体の加入時期が分かった。 ・産卵器の設置などにより、稚バイの増加を確認できた。 |
| | | | (課題) ・効率的な駆除マニュアルの作成を行うこと。 | |
| 資源回復 技術開発 試験 | 19年度 ～ 年度 円 (2,022,000) 1,060,734 | 増殖推進室 | (調査対象) イワガキ、バイ (目的) (単) 平成19年度から漁業者が実施しているイワガキ及び平成22年度から取り組んでいるバイ資源回復の取り組みを支援するため、資源状況(効果)の把握と増殖策に関する調査を実施する。 | (成果) ・イワガキ礁での食害防除手法の開発、岩盤清掃(付着面再生)機械の改良を進展させた。 ・バイ産卵器の設置適期について沿岸漁協に情報提供を行った。 |
| | | | (課題) ・イワガキの食害防除手法について防除素材を改良する必要がある。 | |
| 豊かで安 心な魚を 育む漁場 環境監視 事業 | 19年度 ～ 年度 円 (3,417,000) 1,376,315 | 増殖推進室 | (調査対象) 海洋環境(水温・塩分・クロロフィル)、有害赤潮プランクトン貝毒調査、藻場の監視 (目的) (単) ・沿岸漁業者の操業に役立つ海況と海洋観測前後の漁獲情報等を提供する。 ・有害赤潮プランクトンを監視する。 ・イワガキ出荷の安全・安心の確保のため貝毒原因プランクトン、ノロウイルスを監視する。 ・海藻の分布状況を監視する。 | (成果) ・漁場環境や漁獲情報の迅速な提供によって漁業者の日々操業に役立った。 ・有害赤潮の発生予測によって被害防止策を迅速に講じることができた。 ・特産品であるイワガキの安全な流通とブランド保持に寄与した。 |
| | | | (課題) ・有害赤潮等の被害を防止するには県内及び臨県の各機関との連携・監視調査が必要である。 ・磯根資源を守るためには、県下を広く網羅した定期的な藻場監視調査が必要であり、長期的に知見を集積することが必要である。 | |

| 事業名 | 実施計画 期間 (予算額) 支出済額 | 担当室 | 試験研究 調査の目的 | 試験研究調査の 成果・課題 |
|-----------------------------|--|--------------|--|---|
| キジハタ 栽培漁業 実用化支 援調査 | 28 年度 ～ 32 年度 円 (5,416,000) 3,154,851 | 増殖推進室 | 「6 主な事業に関する調べ」に記載 | (成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| | | | | (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| 魚病対策 事業 | 20 年度 ～ 年度 円 (2,638,000) 1,202,347 | 養殖・漁場 環境室 | (調査対象) アワビ、アユ、ギンザケ、ヤマメ、 ニジマス、イワナ、コイ、フナ、マ サバ、キジハタ、アユカケ等 (目的) (補助) 薬事法及び食品衛生法に基づき養 殖水産物の食の安全性を確保する ため、養殖場の巡回指導、水産用薬品 の残留検査、適正使用指導を行う。 種苗生産や養殖試験過程で発生す る疾病の原因究明、対策技術の開発 を行い、安全生産に寄与する。 | (成果) ・魚病発生時に必要な検査を実施 し、原因究明を図った。 ・種苗生産で発生する魚病につい ての防除策を研究した。 |
| | | | | (課題) 生産量の急増しているマス類養殖に 関する最新の魚病疾病・対策の情報 収集が必要である。 |
| 養殖事業 展開可能 性調査 | 28 年度 ～ 年度 円 (7,712,000) 4,947,503 | 養殖・漁場 環境室 | 「6 主な事業に関する調べ」に記載 | (成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| | | | | (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| 湖山池漁 場環境回 復試験 | 12 年度 ～ 年度 円 (3,981,000) 1,806,888 | 増殖推進室 | (調査対象) ヤマトシジミ、魚介類 (目的) (単) 「湖山池将来ビジョン」に基づく 塩分導入が、湖内の魚介類へ与え る影響および水質の変化を把握す るとともに、重要魚種の資源状況 把握及び水産振興策としてのシジ ミ増殖策を検討する。 また、漁場環境の改善と造成を 目的とした、安価な手法による覆 砂の効果を検証する。 | (成果) ・湖内の魚介類の生息状況を把握し た。 ・H27年以降シジミ資源順調に増加 し、H30年のシジミ漁獲量は過去最 大の68.8トンとなった。 |
| | | | | (課題) ・ヤマトシジミ漁が安定して行える漁 獲量など見極め、漁協へ提示する必 要がある。 ・安価な覆砂の効果が何時まで続く か把握する必要がある。 |
| 沿岸漁業 重要資源 調査 | 13 年度 ～ 年度 円 (9,292,000) 4,989,175 | 増殖推進室 | (調査対象) ヒラメ、ナガレメイタカレイ、マ ダイ、サワラ、マアジ、ソデイ カ、サザエ等 | (成果) ・県中部海域で稚魚等のデータ蓄積 し、稚魚の発生動向等から来漁期の 漁獲予測など漁業者の関心のある情 報を提供できた。また、ヒラメに寄 生するネオヘテロボツリウムの発生 状況を監視できた。 |

| 事業名 | 実施計画 期間 (予算額) 支出済額 | 担当室 | 試験研究 調査の目的 | 試験研究調査の 成果・課題 |
|-----------------------------|--|-------|--|--|
| 沿岸漁業 重要資源 調査 | | | (目的) (単) 沿岸漁業の重要対象種の資源動 向と漁獲実態に関する調査を行 い、漁業者へ資源管理方策の提言 や高効率な漁業経営を促進するた めの情報発信を行う。 | さらに、これまで調査できていなか った夏泊小型定置網で漁獲されるマ アジの漁獲動向を把握できた。 ・漁獲量が増加し、重要度が増して きているサワラの漁獲動向を把握で きた。 (課題) ・稚魚の発生動向やネオヘテロボツ リウムの発生状況の監視調査を継続 すること。 |
| 東郷池ヤ マトシジ ミ資源回 復試験 | 29 年度 ～ 31 年度 円 (2,452,000) 1,087,487 | 増殖推進室 | (調査対象) ヤマトシジミ (目的) (単) ・「シジミ増殖マニュアル改訂 版」の効果検証を行う。 ・漁獲量増産の実践を図る。 | (成果) ・シジミの資源量を把握した。 ・目標とする塩分管理が実行できた。 (課題) ・シジミ資源量が減少に転じたことか ら、シジミ増殖策そのものを見直す必 要がある。 |
| アユ資源 緊急回復 試験 | 29 年度 ～ 31 年度 円 (5,414,000) 3,480,234 | 増殖推進室 | 「6 主な事業に関する調べ」に記載 | (成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| 環境に適 した漁法 の開発試 験 | 30 年度 ～ 32 年度 円 (2,009,000) 871,656 | 増殖推進室 | (調査対象) 漁法開発、小型底びき網の漁具改 良 (目的) (単県) 海水温の上昇等の環境の変化に よる漁獲の低迷や厳しい沿岸漁業 経営の改善に繋げるため、調査を 行う。 | (成果) ・サワラの夜間釣りは、県外事例を参 考に県内でも冬季に水深30m前後で釣 獲できた。また、沖合水深60mでは夏 季は釣獲できないことが分かった。 ・カレイ類のはえ縄調査で県東部で釣 獲できた。 (課題) ・サワラの夜間釣りは、現時点で は、漁業調整上普及は難しいた め、調査は一区切りとし、要望に 応じて実施する。 ・カレイ類のはえ縄調査で漁業者と 協働で漁具改良や漁場探索を行 い、普及につなげる |
| 藻場造成 調査 | 30 年度 ～ 32 年度 | 増殖推進室 | (調査対象) 海洋環境、ノコギリモク、クロ メ、食害生物(ムラサキウニ等) | (成果) ・小型プレートの開発について数種 類の基質を用いて効果比較調査を 行い、適した素材や形状の傾向が みえてきた。 |

| 事業名 | 実施計画 期間 (予算額) 支出済額 | 担当室 | 試験研究 調査の目的 | 試験研究調査の 成果・課題 |
|---|--|--------------|---|---|
| 藻場造成 調査 | 円 (616,000) 165,348 | 増殖推進室 | (目的) (単県) 漁業者から要望が強い藻場造成に 対する技術開発や指導に取り組む とともに、水温の上昇等に対応し た藻場の新たな増殖方法を検討す る。 | ・藻場造成および食害生物駆除に係 る活動支援・指導については、漁 業者の意見を取り入れながら適宜 行った。 (課題) ・小型プレートについて食害対策や 水中ボンドに代わる接着剤の効果 を検証する。 ・平成33年までに小型プレートを用 いた造成方法の普及を目指す。 |
| 未利用海 藻増産試 験(海の 葉っぱビ ジネス創 出活動Pa rt II) | 27 年度 ～ 32 年度 円 (1,977,000) 563,515 | 養殖・漁場 環境室 | (調査対象) アカモク、ホンダワラ、フサイワ ズタ、ハバノリ等 (目的) (単) 未利用海藻ほりおこし調査(H24 -26年度)によって発掘したアカ モク、ホンダワラ、フサイワズ タ、ハバノリ類などの未利用海藻 のさらなる利用拡大を図るととも に、安定供給に関する研究や技術 開発の他、さらなる未利用海藻の 開拓を行う。 | (成果) ・アカモク、ホンダワラについては 母藻を岩盤清掃した漁場に設置す る方法(スポアバッグ法)により 効果的な漁場造成ができることが わかった。 ・県内のアカモク生産量(一次加工 品)は年々増加しており、加工処 理等で地元での新たな雇用の創出 に繋がっている。 ・セイヨウハバノリの人工種苗による港 内養殖の可能性が明らかとなった。 (課題) ・アカモク・ホンダワラについては 造成効果が場所により差があるた め、生息適地の環境要因(水温・ 流れ等)を調査し、より効率的な 造成手法を検討する。 ・生産量がまだまだ少ないホンダワラ ・フサイワズタ・セイヨウハバノ リの安定生産に向けた増殖・養殖 技術の確立を進める。 ・さらなる未利用海藻のほりおこしと 造成技術等の調査・研究を進める。 |
| 漁港内養 殖可能性 調査事業 | 29 年度 ～ 31 年度 円 (2,911,000) 1,297,675 | 養殖・漁場 環境室 | 「6 主な事業に関する調べ」に記載 | (成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 |
| 計 | 円 (52,081,000) 27,589,908 | | | |

2.4 船舶運航調べ

(試験船おしどり)

(平成30年12月31日現在)

| 事業名 | 出航先 | 期間 | | 乗船者 | | | 備考 |
|---------------------|------|----------------------|----|---------|---------|-----|----|
| | | 月日～月日 | 日数 | 調査員 | 乗務員 | その他 | |
| 美保湾ヒトデ大量発生による資源影響調査 | 海上1区 | 30.4.19 | 1 | 延人 2 | 延人 2 | 延人 | |
| 資源回復技術開発試験 | 海上1区 | 30.4.17～11.27 | 11 | 18 | 19 | | |
| 豊かで安心な魚を育てる漁場環境監視事業 | 海上1区 | 30.4.23 ～30.10.4 | 10 | 16 | 12 | | |
| キジハタ栽培漁業実用化支援調査 | 海上1区 | 30.4.27 ～30.8.31 | 4 | 6 | 4 | | |
| 環境に適した漁法の開発試験 | 海上1区 | 30.7.18/7.24 | 2 | 2 | 4 | | |
| 藻場造成調査 | 海上1区 | 30.5.1/6.5 | 2 | 4 | 3 | | |
| 養殖事業展開可能性調査 | 海上1区 | 30.4.21 ～30.7.13 | 4 | 6 | 4 | | |
| 漁港内養殖可能性調査事業 | 海上1区 | 30.5.10 ～30.11.30 | 8 | 10 | 11 | | |
| 未利用海藻増産試験 | 海上1区 | 30.5.15 | 1 | 2 | 1 | | |
| おしどり維持管理費 | 海上1区 | 30.12.21 | 1 | | 1 | | |
| 合計 | | | 44 | 66 | 61 | | |

(試験船石脇丸)

(平成30年12月31日現在)

| 事業名 | 出航先 | 期間 | | 乗船者 | | | 備考 |
|-----------------|------|-------------------|----|----------|----------|-----|----|
| | | 月日～月日 | 日数 | 調査員 | 乗務員 | その他 | |
| 資源回復技術開発試験 | 海上1区 | 30.6.8～30.12.21 | 26 | 延人 32 | 延人 26 | 延人 | |
| キジハタ栽培漁業実用化支援調査 | 海上1区 | 30.6.22～30.10.22 | 4 | 8 | 4 | 1 | |
| 環境に適した漁法の開発試験 | 海上1区 | 30.5.30～30.8.21 | 8 | 7 | 13 | | |
| 藻場造成調査 | 海上1区 | 30.4.12～30.12.25 | 34 | 42 | 34 | | |
| 未利用海藻増産試験 | 海上1区 | 30.6.1～30.12.10 | 6 | 9 | 6 | 2 | |
| 漁港内養殖可能性調査事業 | 海上1区 | 30.10.24～30.11.16 | 3 | 7 | 4 | | |
| おしどり維持管理 | 海上1区 | 30.5.11/5.17 | 2 | | 2 | | |
| 合計 | | | 83 | 105 | 89 | 3 | |

25 用船の状況調べ

平成30年12月31日現在

| 事業名 | 調査内容 | 隻数 | 出向先 | 借上げ延日数 | 金額(円) | | 備考 |
|---------------------|-------------|----|----------------------|--------|-----------|--|---------------------------|
| | | | | | 計 | 使用料内訳 | |
| 美保湾ヒトデ大量発生による資源影響調査 | 桁網調査 | 2 | 美保湾 | 9 | 720,000 | 80,000円/日・隻×9日 | 4マイル未満 3t以上 4h以上30m以浅 |
| 沿岸漁業重要資源調査 | 桁網調査 | 3 | 賀露～青谷沖、泊～天神川灘 | 16 | 640,000 | 80,000円/日・隻×8日 | 4マイル未満 3t以上 4h以上 30m以浅 |
| | 桁網調査他 | | | | 630,000 | 90,000円/日・隻×7日 | 4マイル超 3t以上 4h以上30m以深 |
| | ソデイカ漁期前試験操業 | 2 | 賀露沖 | 2 | 180,000 | 90,000円/日・隻×2日 | 4マイル超 3t以上 4h以上 |
| 環境に適した漁法の開発試験 | サワラ夜間釣調査 | 2 | 赤碕沖 | 1 | 180,000 | 90,000円/日・隻×2日 | 4マイル超 3t以上 4h以上 |
| キジハタ栽培漁業実用化支援調査 | 追跡調査他 | 3 | 網代、酒津、赤碕、中山、御来屋、淀江地先 | 7 | 105,000 | 30,000円/日・隻×0.5日×7日 | 4マイル未満 3t未満 |
| | | 2 | 網代、御来屋 | 5 | 150,000 | 30,000円/日・隻×1日×5日 | 4マイル未満 3t未満 |
| 湖山池漁場環境回復試験 | シジミ調査他 | 1 | 湖山池 | 25 | 250,000 | 20,000円/日・隻×0.5日×25日 | 内水面 |
| 東郷池ヤマトシジミ資源回復試験 | シジミ調査他 | 4 | 東郷池 | 21 | 150,000 | 20,000円/日・隻×3日 20,000円/日・隻×0.5日×18日 | 内水面 |
| 合計 | | 19 | | 86 | 3,005,000 | | |

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし